

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第8回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 諮問事項（公開）

・上越市春日山ペタンク場の廃止について

(2) 自主的審議事項（公開）

・春日山城跡の観光振興策について

3 開催日時

令和5年11月21日（火）午後6時30分から午後8時5分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳、岡本重孝、田中裕子（副会長）、谷 健一、藤田晴子、
本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭、
渡部忠行（欠席4名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：吉田義昭委員に依頼

次第3議題「(1) 報告事項」の「上越市春日山ペタンク場の廃止について」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

- ・資料No.1に基づき説明

【太田会長】

以上で、次第3議題「(1) 報告事項」の「上越市春日山ペタンク場の廃止について」を終了する。

次に、次第3議題「(2) 自主的審議事項」の「春日山城跡の観光振興策について」に入る。

【吉田副会長】

- ・資料No.2「7 観光振興のための人材確保とプロジェクトの発足」、「8 春日山登山道の整備と将来構想」について説明

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【谷委員】

春日山神社から春日山城の本丸までの登山道とは、地域活動支援事業で整備された場所ではないか。

【吉田副会長】

そことは異なる。地域活動支援事業で整備したのは、神社の境内よりも下の道だ。

【太田会長】

春日山城跡保存整備促進協議会が何年かかけて整備したエリアとは異なる道である。

【谷委員】

以前審議した楽市楽座の件であるが、何もかも一からでは大変。現在ある活動をいかしていないと具体性に乏しい。地域の活動に対し、地元の理解が足りない。

【吉田副会長】

楽市楽座については、観光分科会での協議の際、金谷山のフリーマーケットは素晴ら

しいと渡部委員から紹介があった。私も浄興寺のイベントなどを毎年見ているが、そういうものを春日山で行うことはできないか。春日商工振興会も謙信交流館で地域活動支援事業を活用してイベントを行っていた。春日山がにぎわうイベントを盛り上げていこうということで記載してある。きき酒マラソンもイベントの一つ。例えば、毎月どこかで開催されて地域に根付いているものを成長させたいので、そのような活動をしているリーダーと協力していく。私たちは活動主体ではないので、それを商工会議所などをお願いする形になる。

【渡部委員】

先日、市議会の特別委員会で通年観光計画の中間取りまとめの報告があった。どんどん進んでいるが、見てがっかりした。内容に具体性がない。埋蔵文化財センターから先、車両進入禁止の話があった。埋蔵文化財センターで物品販売や飲食するような話も出ている。議会で盛んに議論され、計画の最終案が1月に示される。そういう状況で意見書を出して意味があるのか。何か意見書と内容が重複している気がする。通年観光計画の中間取りまとめの内容が非常に良かった。そうすると、私たちが一生懸命よい文章を作っても、行政はその内容はもう考えているという話だった。私たちの位置付けがはっきりしていなくて、やる気をなくした。

楽市楽座は私の提案だった。高田で是非やりたいと言う人がいるが、私たちは実施部隊でないためできない。一般市民が気楽に訪れることのできる、自分たちの憧れでもある謙信公や春日山というのが我々の願いである。市外から来てお金を落としてもらうのが観光だと思うが、それ以前の問題が大事ではないか。そういう意味で、楽市楽座を提案させてもらった。一生懸命この意見書を作っているが、既に反映されていて、当然のように市で話が進んでいる。私たちにも計画について担当課から説明してほしい。

【渡邊係長】

意見書を提出したのに、市で既に計画を作成したから取り合わないということにならないよう、先日、観光分科会で担当課へ話をする場を設けた。全体会での審議前のものだが、意見書の提案事項については既に渡してあり、担当課は承知している。

【渡部委員】

地域協議会での決定事項や意見を言っても、本当に反映されているのか心配だ。先日の打ち合わせでは、ほとんど意見がなく、当たり前のことを説明しているだけだと思う。

【太田会長】

担当課では、私たちのまだ荒削りな資料を参考に進めていると、私はいい意味で解釈した。多分、ある程度、その中のものも参考にして作っていると思う。

【渡部委員】

地元の主たる人との対話や、地域協議会の名前は出なかったが、そういう人たちの要望で車両進入禁止を提案する予定だと、テレビで市長が言っていた。本当に地元の人が賛成するのだろうか。車両進入禁止になると、個人的には歩くのが大変だから行けなくなる。地元の意見がすり替えられている可能性がある。

大きな問題は、埋蔵文化財センターから先を車両進入禁止とすることについて、今検討中であり、市長が、それは地域の人たちの要望から出てきたと説明しているということだ。我々の意見書が、違った意味で利用されないようにしなければならない。

【太田会長】

いい意味での活用であればよいが、ちょっと外れたところで利用されるのは懸念しなければいけない。中間取りまとめの資料に関して、私たちの考えもある程度汲んでもらっている部分はある。そのまま進むのか、あるいは上手く進まなければ、よりよい方向へと第一段階、第二段階と進んでいくと思う。私たちが考えていることも少しずつ耳を傾けてもらっていると、私は前向きな捉え方をした。

【吉田義昭委員】

登山道の整備の問題なら、ぬかるみを無くすためには資材がどのぐらい必要かなど、整備計画は出ないのか。日数、材料、経費などを具体的に計画しないのか。地元の子供たちが協力している「土の一袋運動」は、いつまで続けるのか。

市議会で春日山の通年観光に関する内容が協議されている。協議会に関係する内容があれば、事務局から市議会の動きを教えてほしい。その上で協議会は具体的な進め方を決めていく。ただ意見書を提出して、それで終わりなのかと疑問に思う。実現するのにどのぐらいの経費や日数がかかるとか、そういうのが見えてこないのか。意見やアイデアは提供するが、実現するのは市で取り入れてやってもらう。こういう活動が地域協議会の職務なのかというところに、私は非常に疑問を持っている。

【渡邊係長】

市議会の動きに関する情報は必要かもしれないが、地域協議会の意見は、それによって左右されるものではない。皆さんの意見は地域協議会の意見として、まとめて提出する。市議会の意見に左右されることなく、協議会の意見をまとめていただきたい。

【吉田義昭委員】

市議会の意見に振り回される必要はない。ただし、地域協議会委員は周りの動きを知った上で、自分の意見を発言した方がよい。情報だけはもらって、どのように進めるかを考える。意見だけを出すのではなく、それを具体的に進めていくにはどうすればよいかというところを、私たちは求めていかなければいけないと思う。

【渡邊係長】

議会がどう動こうと、今回、魅力創造課が中間報告でどう発言しようと、地域協議会の動きは変わらない。地域協議会のやり方で協議を行っているので、情報があっても無くても、皆さんの今の思いを出していただければと思う。

【太田会長】

「土の一袋運動」についてだが、春日山の現状維持のために行っているのもゴールは無いと、毎年、春日中学校や春日小学校の子供たちに説明している。

【吉田義昭委員】

登山道整備の問題はずっとあるのだから、具体的な計画は出ないのか。

【吉田副会長】

今回の意見書の内容は、基本的なアイデアを提案している。段差などの補修については、行政が考える。私たちはそこまで具体的に踏み込めない。私たちは基本構想を提案し、基本的な効果を加えればよい。市からは、採用するかしないかの返事をもらう。

【本多委員】

意見書を提出し、実際、私たちは何もしなくてよいということだが、範囲が広いので、もっと絞り込んだ内容にした方がよい。史跡のため許可なく作業できないところもあるので、それ以外の部分に絞り、具体的なものを意見書として提出した方がよい。

【田中副会長】

本日、この後に意見書のたたき台を作成する作業に入る。具体的に提案する内容の順番やカットする箇所などについて審議していく。委員の意見は一旦お聞きしてから、精査する方向に進んでいく。

【太田会長】

この後は、資料No.3を使い、第一段階としては、1から8までの項目の中で、優先事項を協議し、それを次の段階でまとめていく。これをもう少し整理して、項目もスリム化してわかりやすいようにまとめたいと考えている。

【吉田副会長】

今までは、観光分科会で考えた 8 つの構想を皆さんに理解していただき、質問を受け付けるための審議であった。資料は、このままでは使えない。私が撮った写真は資料にできるが、他から転用した写真は許可なく掲載できない。今後、事務局で仕上げ、それをまた皆さんで審議して、最終的に提出する。これは内容を皆さんに理解してもらうための図や写真の入った資料であり、既に担当課にアイデアとして見てもらっている。

【谷委員】

「7 観光振興のための人材確保とプロジェクトの発足」に「観光をリードするキーマンの不在」、「観光に活かそうとするキーマンの存在が必要」とあるが、どのように考えていくのか。きき酒マラソンには、もう人材がいて、組織として活動している。キーマンの存在が必要なのは分かるが、今活動しているクラブとか団体がキーマンになり得る。そういう人たちをキーマンとして捉えるという、周りの理解がないと進まない。認識の改革が必要だと思う。何かよい方法はないか。

【吉田副会長】

きき酒マラソンの実施主体は青年会議所か。

【太田会長】

上越商工会議所青年部の観光文化振興委員会が実施している。

【吉田副会長】

そういうところと地元がタイアップするようなものを、これから作っていければよい。

【谷委員】

きき酒マラソンでは、商工会議所が全国から参加しているランナーに向けてふるさと納税のPRをしている。そういうことを一生懸命やっているのだから、ぜひ理解して、協力していけばもっと盛り上がると思う。これは春日区の大きな事業になるので、地域協議会の皆さんも来年は見学してもらいたい。

【太田会長】

私も、一昨年まで商工会議所青年部の会員だったので認識している。春日山だけではなく、上越市全体、県内、全国へと行っているのだから、春日区の中でキーマンとなる人が出てきたときに、商工会議所にも声掛けをして、春日山の活性化のイベントの一つとして活用させてもらう形で一緒にやっていければと思う。

県外からの参加者も多かったことが確認できたので、地域活性化の素材の一つとして

活用するのはよいが、そこだけを注視するのではなく、春日山には他の活動団体もあるので、春日区全体に目を向けていければ良いと思う。

【谷委員】

現在ある活動を地元が活用していかないと、せっかくのよいものが埋もれてしまう。

【太田会長】

他に意見はないか。

【吉田義昭委員】

写真の掲載に著作権が関係するとのことだが、我々が写真を撮影すれば問題ないのか。今の資料の写真は使えないのか。

【太田会長】

例えば赤福の写真があったが、内部資料として皆さんが確認するだけならよいが、会議録に掲載したり、意見書の添付資料に掲載したりすると公開資料となるので、掲載許可がないと使えない。

【渡部委員】

意見書は誰が作るのか。

【太田会長】

事務局が文章をまとめて、それを協議会で審議し、事務局で修正する。それを数回行い、市長へ意見書を提出する。

【渡部委員】

通年観光の最終案の提示が1月。形式にこだわって、やりとりばかりしていると、12月、1月になってしまう。

【太田会長】

今日は資料No.3の内容について議論するが、事務局からは、次の協議会までにこれまでの議論をまとめたものを示してもらおう。それを確認してよしとなれば、そのまま年内には意見書として提出したいと考えている。

これからの進め方について、事務局からの説明を求める。

【渡邊係長】

今まで皆さんが協議していただいた資料は、とても素晴らしいものである。地域協議会が提出する意見書は、市のホームページなどにも掲載される。先ほどの説明のとおり、写真や人名、店舗の名称等は、許可なく掲載できない。内容を整理し、意見書という形

で数枚にまとめ、12月の協議会で皆さんに審議していただきたいと考えている。

それと、市で計画を作っているのに間に合うのかという懸念について、これまで審議してきた具体的な内容は担当課に8月頃に渡してあり、担当課は地域協議会の動きについても承知しているので安心していただきたい。

- ・資料No.3に基づき説明
- ・意見書に掲載する項目の優先順位を確認

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

資料No.3の項目の優先順位について協議する。

【吉田副会長】

いろいろな要素が入っているので、順番は付けられない。見方によって全く価値観が違ふと思う。いろいろな面から考えた案である。担当課が必要な案をピックアップし、不要なアイデアを却下すると思うので、優先順位はこだわらない。

【岡本委員】

私は観光分科会の時にも言ったが、全体的なインフラ、例えば高速道路の出口から春日山への案内表示など、全然そういうものが無い。以前、バスの運転手に「春日山はどう行ったらよいか分からない」と言われたこともある。だから、そういうものも入れてほしい。大きなインフラは、すぐにでも必要になる。追加してほしい。

【渡邊係長】

資料No.3の項目1に記載している。

【松澤委員】

これだけのよい意見なので、全て優先順位1位の気持ちで提案したい。

【藤田委員】

丁寧な具体案を作ってください、感謝している。

【丸山委員】

春日山に住んでいるのに、知らなかった部分もたくさんあった。これからは少しでも協力できればと思う。

【山田委員】

大手道の入口の向いに鳥居があるが、神社の名称を知っている人はいるか。秋葉神社である。分かりにくい小さなところにも看板を設置したらどうか。

【市川委員】

意見書のボリュームが多いので優先順位を決めるのは難しいが、私は春日山城跡保存整備促進協議会で草刈りのボランティアをしていることもあり、登山道の整備を優先してほしい。山登りにしても、今の状態では、県外から来た人も登りにくいと言っている。他の所は歩幅に合わせて道を作っているが、春日山は全く歩幅と合わないのが危険だという話も聞く。登山道に手すりも無い。「1 春日山周辺の道路、駐車場の問題と対策」に「8 春日山登山道の整備」をプラスした方がよい。

また、埋蔵文化財センターから銅像下までシャトルバスを運行するという話だが、観光バス対策はどうなるのか。観光バスだけ優先的に入れるとなると、地元住民はどう思うだろうか。先日、春日山神社の保存整備の研修会に出席した。上越市には春日山、直江津、高田に城があるが、春日山だけに力入れてくれるのか。今回の私たちの提言がいかされるとよいと思う。

【渡邊係長】

今の意見は、資料No.3の8に「1と併せ、高齢化への配慮やインクルーシブ教育のため誰もが歴史や文化に触れられるよう整備を進める」と、観光分科会と担当課の協議を踏まえて記載している。登山道の整備は、1の対策とあわせて、バリアフリーではなく、ユニバーサルデザインなので、「誰もが行ける」ことを重視する。特に車椅子や障害のある方は、歴史文化に触れられる機会が少なく、史跡等では保存が優先されてしまい、建造物等を見ることができないという問題があるようだ。史跡を壊してまでとはいかないだろうが、整備をするなら、その配慮は必要だということは入れたい。

【吉田副会長】

私は項目の優先順位にはこだわらない。事務局が正式な文書をまとめる段階で、順番の入れ替えや修正をしてもらえばよく、今の意見を反映させていきたい。

【渡部委員】

春日山の登山道の段差が大きい。国府もみじ園が参考になる。階段の段差が小さく、通路にロープが張られていて安全だった。非常に急なところを上る割には楽で、人間工学に基づいている。ところが、春日山は登山道が長く、階段の段差が大きいので、階段の脇を使って上る人が多い。だから地形も崩れていく。

このような意見はあるものの、まずは意見書を完成させて提案してもらわないと、頑張った意味がなくなる。各論はまた機会があれば協議したい。

【市川委員】

現状、春日山は全く手が付けられない。極端に言えば、杭一本打つのも駄目だ。そういう状態で、このようなことが果たしてできるのか。私たちの提言は、非常によい内容だと思うが、なかなか実現が難しいのではないかと。まずこういうことをやるには、どこがネックになっているのかを確認し、それを取り除くことから市はやるべきではないか。できるものから先にやっていかないと前に進まない。どこが一番ネックになっていて、手が付けられないのか、事務局で分かったら教えていただきたい。

【渡部委員】

2030年までの7年間で50億円かけるそうだ。

【吉田副会長】

新潟日報カルチャースクールの講師に、春日山の活用について聞いてみたところ、監物堀の発掘や復元は可能だが、山については図面なども無いので、屋敷跡などの発掘を勧められた。柱の跡はかなり残っていると思われるので、地元が声を上げて、文化庁を巻き込んで発掘を進めていく。柱の穴が出てくれば、何らかの建物の復元とか、多少の可能性はある。ただ、春日山は、空堀や土塁の今残っているその形が素晴らしく、山城として魅力がある。フィールドミュージアム構想、ありのままの博物館である。だから、麓は監物堀と土塁の発掘、復元を行う。山は今残っている空堀を保存して、そこを宣伝する。魅力があるから、それを売り込んだらどうかと教えていただいた。

【太田会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

【渡邊係長】

・資料No.4に基づき説明

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、次第3議題「(2) 自主的審議事項」の「春日山城跡の観光振

興策について」を終了する。

次に次第3 議題「(3) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次第3 議題「(3) その他」を終了する。

次に、次第4 その他の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：12月19日(火)午後6時30分から 上越市市民プラザ(予定)

・内容：(自主的審議事項)春日山城跡の観光振興策について

【太田会長】

以上で次第4 その他の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次に、次第4 その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【渡邊係長】

・2月に活動報告会を開催することについて説明

・開催日程について、正副会長、事務局へ一任することを確認

【太田会長】

他に、何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。